

愛知県立大学と愛知県教育委員会との連携協力に関する協定書

愛知県立大学（以下「甲」という。）と愛知県教育委員会（以下「乙」という。）は、県立高等学校（以下「高校」という。）と大学との連携及び協力（以下「高大連携」という。）をはじめ、教育分野で相互に連携協力する事項について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第 1 条 この協定は、甲と乙が高大連携をはじめ、教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第 2 条 前条の規定に基づき、連携して実施する事項は、次のとおりとする。

- (1) 高校生が大学における高度な教育・研究に触れる機会の充実に関すること
- (2) 教員の資質・能力の向上に関すること
- (3) カリキュラム開発に関すること
- (4) 現代的教育課題に関すること
- (5) 高校と大学とのそれぞれの教育に関する相互理解の促進に関すること
- (6) その他甲と乙が必要と認める事項

（連携の方法）

第 3 条 甲と乙とは、連携に当たってそれぞれの教職員の派遣及び受入れについて協力するとともに、自らの有する施設等の利用についても、業務に支障のない範囲で双方便宜を供するものとする。

（経費）

第 4 条 甲と乙の連携協力の伴う経費は、原則として各自が負担する。ただし、特別に教職員の派遣及び受入れを要請した場合は、要請した側がその経費を負担する。

（守秘義務）

第 5 条 甲と乙の双方は、この協定に基づく活動において、相手側から知り得た秘密事項について、協定の有効期間中及び有効期間終了後を問わず、第三者に対して開示又は漏洩してはならないものとする。ただし、相手方の承諾を得ている場合は、この限りではないものとする。

（有効期間）

第 6 条 この協定の有効期間は協定締結の日から 1 年間とする。ただし、この協定書の有効期間満了の日の 1 か月前までに甲乙いずれからも改廃の申入れがないときは、更に 1 年間更新するものとし、その後も同様とする。

（協定廃止）

第 7 条 この協定は、甲または乙の申し出により、双方協議のうえ、廃止できるものとする。

（雑則）

第 8 条 この協定に定める事項に疑義が生じたとき、またはこの協定に定めるもののほかに合意の必要が生じたときは、双方協議のうえ、新たに定めるものとする。

この協定は、甲乙双方の代表者の署名をもって有効となる。
なお協定書は 2 通作成し、甲と乙とがそれぞれ 1 通を保有するものとする。

2021年12月20日

（甲）愛知県立大学学長

（乙）愛知県教育委員会教育長

久富木原 玲

長谷川 洋